

令和元年度第1回旭市総合教育会議 会議録

1 期 日 令和元年10月31日(木) 開会 午前10時00分
閉会 午前11時30分

2 場 所 旭市役所海上支所3階会議室

3 出席者 明智 忠直(市長)
諸持耕太郎(教育長)
鏑木 俊一(教育長職務代理者)
鈴木 典男(委員)
富山 理(委員)
島田 恒(委員)

4 開 会

・飯島庶務課副課長

定刻となりましたので、令和元年度第1回旭市総合教育会議を開催いたします。
はじめに、開会にあたり明智市長よりご挨拶を申し上げます。

5 市長あいさつ

・明智市長

令和元年度第1回目の旭市総合教育会議にご出席をいただきましてありがとうございます。
ございます。

日頃は、教育行政に対してご指導いただき、改めてお礼を申し上げたいと思います。
教育改革の中で、平成27年から総合教育会議を設置するという国の方針があり、本市でも設置しました。それ以来、教育委員の皆様と市長が、直接教育
について協議をする機会が作られ、総合的な旭市の教育行政、方向性等を協議す
る場が設けられました。これからも、総合教育会議を柱にしながら、旭市の教育
行政を進めていきたいと思っています。

昨年は2回の総合教育会議を開催しましたが、1回目は「家庭や地域、行政と
の連携による環境教育の推進について」と「公民館等生涯学習施設の整理・統合
について」を議題としました。2回目は「教職員の労働時間について」と「人口
減少問題について」の意見交換を行いました。

本日は、「旭市の教育に関する大綱」が平成28年度から平成31年度までで
終わりますので、見直しをするのか、しないのかという部分を含めながら、意見

交換をしたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

県や他市の大綱を見ましたが、細かに諸問題を列記しているところと、大きく3つくらいに絞っているところなど色々ありました。旭市の大綱は5つの重点目標を掲げております。そのことについても、もう少し増やすのか、現状のままで内容、文言の整理をするのか、委員の皆さんのご意見を賜りたいと思っております。

また、人口減少の中で、中央病院へ戻ってこられるような学力を身につけられる、そういった学力向上を進めて行きたいと思っております。総合教育会議でも対処したいと思っておりますが、中学生が西場志向といえますか、成東、佐倉、千葉への進学がかなり薦められておまして、匝瑳高校や市立銚子高校等への進学も、しっかりと地元を愛する子供達の教育が必要ではないかという思いでいます。これから時間はかかると思いますが、地域の発展のために繋げていきたいと思っております。

本日は忌憚のないご意見をいただきながら、意義のある総合教育会議にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

・飯島庶務課副課長

ありがとうございました。

それでは議題に入ります。会議運営要綱第3条第1項により、議事の進行を明智市長にお願いしたいと思います。

明智市長、よろしくお願いいたします。

6 議題 「旭市の教育に関する大綱」の見直しについて

・明智市長

それでは、しばらくの間議事の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

先程申し上げたように本日の議題は、「旭市の教育に関する大綱」の見直しについてでございます。時間の許す限り委員の皆様と意見交換をしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

始めに、事務局より説明をお願いします。

・栗田庶務課長

資料の説明をする。

(資料1) 旭市の教育に関する大綱 (平成28年度～31年度)

(資料2) 見直しに関する意見・協議事項

(資料3) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」(概要) 平成27年4月1日施行

(資料4)「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

(資料5)千葉県及び近隣市の教育大綱及び策定状況

・明智市長

事務局の説明は終わりました。ただ今の説明について、何かご質問がありましたらお願いします。

質問がないようですので、意見交換を行いたいと思います。事前にいただきましたご意見を、基本理念と重点目標の項目ごとにまとめました。本日は資料2を基に、皆様の思い・考えを順番に聞かせていただきたいと思います。

まず、基本理念について、意見交換を行いたいと思います。事前に意見をいただきました鏑木教育長職務代理者からお願いします。

・鏑木教育長職務代理者

意見の前に、質問をしてもよろしいですか。

他の市では教育振興基本計画を策定しているところが結構あるようですが、旭市はその計画があるのか。

それから、大綱に関しまして、市の総合戦略も大事かなと思ったのですが、市の総合戦略は次はいつ頃策定されるのか。この2つを聞いてから、自分の意見を述べたいと思います。

・栗田庶務課長

旭市の教育振興基本計画につきましては、策定はしてございません。また、総合戦略につきましては、令和2年度から新しいものがスタートするということでございます。現在作成中でございますが、先日地域意見交換会がございまして、その席で概要についての資料、総合戦略の部分をお配りしているのでこの場でお配りしてもよろしいでしょうか。

このように現在作成中でございますので、最後まで出来ておりません。大項目くらいの題目があるものをお配りしますので、参考にさせていただきたいと思っております。

・明智市長

教育基本計画については、この大綱を作るときに議論して、2つ作る必要はないであろうということで話し合った記憶があります。

・鏑木教育長職務代理者

総合戦略について今案を配られましたが、みている訳にはいかないと思いますので、以前のものは例えば学校教育の充実とか、生涯学習関係とか、スポーツ活動関係など全部総合戦略の中に入っていたと思いますので、意見を書かせてもら

いました。

私も初めてなので、資料4の大綱の策定のところをみましたら、「その地域の実情に応じ・・・」とまず書いてあって、「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」と書いてありました。旭市の場合、今までの大綱をみると学校教育がほぼ中心で、その他の生涯学習とか生涯スポーツについてはあまり触れられてないのかなと思います。ですから一生旭に住むということになりますと学校教育だけではなく、もっと生涯に涉り運動したり学習したりというようなことも、大綱の中に必要ではないかと思いました。

それと、この大綱には旭市の特色がそんなには出ていないかなと。他の市町村のものをみてみますと、例えば銚子市は小中高大学があり、それを活かした教育を進めようというようなことが書かれています。それからジオパークの推進とか特徴あるものも入っています。また、香取市も重要伝統的建造物群保存地区における建造物の保存を大綱の中に入れてあります。成田市では、成田空港を擁する成田ならではの取組を推進し、コミュニケーション能力、英語力の育成などがありましたので、旭市でもそのような特徴のあるものが必要かと思いました。食に関することについては、非常に良いと思います。

これから検討していく中で、どんどん増えてしまうのもどうかと思います。今日検討して大綱に取り入れられないものは、例えば学校教育指導の指針などに入れていただければありがたいなと思いました。学校教育課でいくつかの項目の案が出てますので、このような内容なら、色々な旭市の特色をだせるのかなと感じました。多岐にわたって基本理念だけでなく意見を言いましたけど、私の意見はこういうところです。

・鈴木委員

他の市の資料を拝見しましたが、生涯学習、生涯スポーツについて、旭市はあまり記載されていなかったという風に思います。教育全体的に考えていけば、教育基本法に基づくとするのですが、それを基にして旭市独自のものを作っていく方向に進めたほうがいいのかと思います。ただ、あまり量が多くなるとどうかと思いますので、その辺は考えて取組んでいく必要があると思います。

・富山委員

旭オリジナルという部分が少し少ないと感じております。もう少し旭らしいオリジナリティを出してもいいかなと思います。教育に関して言っていることが多いので、出来れば総合的に生涯学習について、生まれてから墓場までみたいな感じの教育の方向性を入れてもいいかなと思っております。

・島田委員

重点目標の文言ですが、一番初めに「旭に誇りを持って、世界にはばたく人

を育みます」と、文章としては非常によろしいし全く同感ですけれども、個人的には「世界にはばたく人を育みます」という表現が一番初めに来るのはどうなのかなという気がしました。というのは、目的としては世界にはばたく人が一番良い訳ではないし、地域に残っている人のほうがほぼ99パーセントなわけですけれども、世界にはばたくのが目的でもないわけで、むしろ与えられた仕事に誇りを持って、しっかりと責任を持ちながら仕事をする事が必要だろうと思います。世界にはばたく人を育むという文言になると、どうしても職業の上下といたしますか、そういうものを穿った見方をすれば取られがちにもなるので、国際化とかグローバル化というものに対応しや、そういう力を育むという表現としたほうが誤解を招かない表現になると思いました。

・諸持教育長

各委員さんのご意見ありがとうございました。総じて、学校教育中心ということがご意見の主流で、旭全体で子どもから大人、高齢者までを含めて生涯学習、スポーツということを踏まえているかということであったと思います。私も学校訪問、体育スポーツの諸行事に参加させていただいて、旭市のPRポイントとして恵まれた施設があると思います。それらを活用して生涯にわたって世代が繋がり、取り組む環境を旭市のPRポイントにしてはどうかと思います。あまり言葉が長くならないようにして、旭市の恵まれた文化、体育施設の活用を通じての育みがうまくどこかに入れることが出来ればと感じております。

・明智市長

ひと通り委員の皆様の見解を聞きまして、多くは生涯学習とかスポーツ振興とか、それと地域の特徴をもう少し出したらという話がありました。私も旭中央病院を含めた旭市の総合戦略の中で、「医療・福祉の郷」「食の郷」「交流の郷」の三郷構想をまちづくりの基本にしています。教育大綱でもそのような部分があればいいのかなと。医療・福祉の郷、食の郷、交流の郷が旭市のまちづくりの基本ですが、そこを子ども達にも理解してもらいたい。旭市の街づくりは医療・福祉の充実、食の充実、交流の充実が大きなメインでありますので、旭中央病院を文言に入れるかどうか、又、特徴を活かすということであれば干潟八万石などもありますので、入れられれば入れてもらったほうがいいかなという感想を持ちました。

それでは、重点項目の1番から5番までありますが、項目毎に委員の皆様方の意見を聞きたいと思います。最初に重点項目(1)の「ふるさと旭に誇りを持ち、世界にはばたく人を育みます」ですが、先程島田委員からお話がありましたが、私も確かにふるさと旭に誇りを持ち、世界にはばたくは続かないように感じます。世界にはばたくための人材を育てるのかなという感じがしますので、この辺の文言の整理をしていただきたいと私も思います。他の委員の皆様

方にも意見をお願いします。では、重点項目（1）について、鈴木委員からお願いします。

・鈴木委員

千葉県の教育振興に関する大綱にある、「広く世界に目を向け、グローバル化に対応できる力を養います」という文言ですが、ITの進展とか交通手段の発達など、その関係というものを良く見ていく必要があると思います。国境がなくなっただけと言われますが、街中で外国人もかなり行き当たりますし、大きな影響が出ているのではないかと思います。また、国境を越えて最近ではゴミもやってきますので、大きく目を見開いて関与していかなければならないという思いで書かせていただきました。

・鍋木教育長職務代理者

市長さんの郷土愛からつなぐ未来ということで、ふるさと旭、ふるさと教育というのを1番目に入れたことは非常に良いのかなと感じました。

・富山委員

私も鍋木教育長職務代理者と一緒で、ふるさと愛について一番初めに持ってきたのはすごく良いと思います。ただ、②の「国際社会で活躍できる広い視野をもった人を育むために」というところですが、この人たちをつくるためにどのような教育をするのかということが大前提な感じの文言に受け止められますので、少しオブラートに包んだ感じにしたほうが良いのかなと感じました。

・島田委員

特に異論はありません。

・明智市長

最初に持ってくるということについてどうかという、島田委員の意見がありましたが、1番目に持ってくるのは良いと思います。「誇りをもち、世界にはばたく人を育みます」は点の前と後が繋がるような感じがするため、本当に世界にはばたくような人をつくるような感じがするので、文言を整理してもらいたと思います。「世界にはばたく人を育みます」というところを前の文と繋がらないように、ふるさと旭を愛しとか、一旦切って世界にはばたくという風にやってもらいたい。

・諸持教育長

今すぐに文言は出ませんが、各委員さんのご意見を入れて考えてみたいと思います。島田委員が最初に言われた、旭市の特色ある産業、農水産業など各業

界、産業がありますので、職業、仕事を通して誇りをもってふるさと旭を継続していくみたいな意味合いがどこかに入ると良いのかなと思います。

- ・明智市長

それでは、重点目標の（１）については、私も所々で意見を述べさせていただいたので、担当のほうでまとめて文言の整理をお願いしたいと思います。

２番目の「確かな学力と生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を身につけた人を育みます」について、意見を出していただきたいと思います。鍋木教育長職務代理者からお願いします。

- ・鍋木教育長職務代理者

重点目標の（２）は、学校教育について書いてあると思います。やはり学習指導要領が変わってきますので、「主体的対話的で深い学び」に関する文言を入れて何かをはずした方が良いのかなという風に考えました。それと、あまり細かいことをたくさん言っていると大変なことになってしまうなと感じました。

- ・鈴木委員

学力向上に関しては、かなり問題があると思います。一番初めに市長さんからお話があったとおりの現状だと思います。そんな中で、確かな学力を身につけ、激しい社会の変化に対応できることが必要だと思います。この間台風の影響で千葉県内でもかなりの停電がありました。その時に電力会社の会見で、経験だけではもう対応できない状況が発生してきているという話がありました。これも自然現象ですけども、変化が激しいという部分に入ってくると思います。変化を読み取る力、経験だけではなくて理論的な経験も必要になってくると思います。

それともう一つは、これだけ変化が激しければ生涯にわたって学ぶという、違う意味での生涯学習というのがこの中に含まれてくるのではないかと思います。

- ・富山委員

当時の学習指導要領が、恐らく基本になってこの文章が出来たと思いますので、今後新しい指導要領が出た場合は、そちらを参考にするのが望ましいように感じます。ただ実際にそれを入れ込むと大変な量になりますので、旭市の学校教育の指導指針が策定されていますので、そちらを教育の目標指針として、こちらの重点目標では大まかな表現としていただければと感じました。

②は社会におけることですが、生涯にわたって学習するという姿勢を学ぶということを経験教育というのは違う感じがしますので、文言を考えていただければと思います。基本理念の中に生涯学習・スポーツを踏まえるというお話でした

ので、それを考えるともう少し幅の広がった感じの文言になるのかなと思います。

・島田委員

富山委員から言われたことを私も感じましたが、そもそもキャリア教育という言葉の定義を良く飲み込めていないところがあるのですが、その前段で「より高い目標に向かって努力する人を育む」という文脈と、それ以降の「キャリア教育を推進する」というのは、そもそも文脈を分けるといいますか、人を育むとともに発達の段階に応じたキャリア教育というように、文脈が2つあって、1つの文脈の中で話すと意味合いが違ってくる気がしました。他には異議ございません。

・諸持教育長

2番目は主に子供達の姿や学校教育を中心に捉えていると思いますので、これでいいと思います。4年前に作ったときの文科省の学習指導要領を踏まえての文言なので、次の新学習指導の一番キーワードとなる文言をうまく入替えるのが適当かなと思います。先程から話題になっています生涯学習・スポーツ云々というところと関連して、文言整理が若干必要かなと思います。ただキャリア教育は、各学校でも農業体験を取り入れたり、小学校高学年、中学校2年生が職業体験をやっているの、そういうところを踏まえた文言を入れて、更にふるさと旭を理解して将来この土地で頑張ろうみたいなところに繋がる文言を入れたいなという気持ちがあります。

・明智市長

文言の問題は難しい部分があって、見直しが必要かなと思いますが、時代時代にあった教育方針等を取入れながら、文言の整理をしていただきたいと思います。

2番目、3番目、4番目は小中学校の知・体・徳の教育が項目になっていると思います。最初の教育大綱の策定に私も関わりましたが、知・体・徳はしっかりとみんなに触れてもらわなければならないということで、あとは時代にあった部分を含めながら進めてもらいたいと思います。それから、キャリア教育は生涯教育に通じるものだと思いますが、キャリアがある人を呼んでキャリア教育をするのか。また、文言の繋がりをもう少し整理していただければと思います。

付け加えるという部分では、確かな学力のところに変化に応じたや、変化の激しい社会の変化などを入れてはどうかと思います。災害も多く、災害に対応することが必要な時代になってくるので、文言に加えて整理してもらいたいと思います。

それでは、重点目標の(3)「豊かな人間性や道徳心をもった思いやりのある人を育みます」について意見交換をしたいと思いますので、鏑木教育長職務代理者からお願いします。

- ・ 楠木教育長職務代理者

この総合教育会議ができたきっかけとして、確か滋賀県でいじめがあったことを市長が知らなかったためだったと思います。いじめについては、相当子供達も苦しむので、それについても触れておいたほうがいいのかなと思います。ただ大綱に入れなくても、学校教育指導の指針に入れてもらえればありがたいかなと思います。

- ・ 鈴木委員

いじめや虐待についてはかなり報道されていますが、大綱の(3)の①「幼少期のしつけや親子のコミュニケーション等を充実するために」という表現がありますが、しつけと称して虐待が行われているという報道もあります。また、「支援をします」とありますが、このあたりの表現が気になりました。

- ・ 富山委員

(5)で「学校、家庭、地域が一体となり」と家庭に触れてますので、そこらにも人間性と道徳にスポットライトを浴びさせて、中身を充実できるかなと感じました。

- ・ 島田委員

特にございませんが、先程(2)の②で文脈が2つ違うのではと言いましたが、教育長のお話を聞いて文脈を分ける必要はないなと理解しました。

- ・ 諸持教育長

3番は心のところで、先程鈴木委員の方から最近の情勢、虐待・いじめの問題について意見がありました。しつけという言葉は、別の表現のほうが良いと思います。確かにいじめというのはどんどん増えている状況なので、例えば②のところの中段で「人間関係づくりや」とありますが、この辺にいじめのないを入れるなど、いじめを防ぐような言葉を入れられたらと思います。それから、今よく言われている自助共助、共生社会など、小さい時から小さな親切運動などできることからやるということ、この中に入れられるといいなと思います。

- ・ 明智市長

心の部分だと思いますが、今自己中心な子供が多い中で、人への思いやりとか人の話を良く聞くとか道徳教育の一環だと思います。「道徳心を持った思いやりのある人を育む」ということで題目がそのようになっていますので、もう少しそういうことについて小さい項目の中に入れてはどうか。

ここで10分間休憩を取りたいと思います。

<午前11時5分まで休憩>

・明智市長

会議を再開します。

次に、重点目標の4番目「健やかでたくましく活力あふれる人を育みます」について意見交換をお願いします。富山委員からお願いします。

・富山委員

もう少し文言を増やせないかと思いました。「心豊かに」とか「人生が明るく」とか。「生きる」という文言は「生き抜く」などに。また、たくましくだけではなく朗らかになど、そんな感じにしてはどうかと思います。たくましくという言葉が戦国時代のように感じますので、少し優しい言葉にしたらと思いました。

・鈴木委員

① のところで「食の郷」とありますが、これからの旭市総合戦略と関係してくる部分だと思いました。ここに「未来に」と書きましたが、恵の豊かさ、食を実感するだけではなく、未来に繋げていくような指導が総合戦略にもかかっているのではないかと思います。旭市の中だけでは生きていく、生活していくことはできないわけですから、どのように関係していくのか。或いは、小中学校の職場体験もありますので、どのように食と関係しているのか。この辺のところは新しい重点戦略のしごと創生に関連してくる部分だと思いました。表現は別としてもこの辺のところに、これから力を入れていくということが必要になってくるのではないかと思います。

・鏑木教育長職務代理者

② 「食の郷」でもある旭市の特色を踏まえ、と市長さんがおっしゃる三郷構想の中の「食の郷」が入っているので、そのまま活かしたほうがいいと思いました。

・島田委員

② 「食の郷」はとても素晴らしいことだと思います。特に、子供達にも全国で6番目、しかも非常にバランスのとれた生産地域であることをしっかりと理解してもらおう。それから先程にもありましたが、未来に向かっても非常に大切なことだと思います。

・諸持教育長

ここに言葉をプラスアルファすると長くなる気がしますが、文言をそのまま活かしながら、子供達の農業体験や職場体験を通してみたいな事をうまく組み入れられれば、さらにいいと思います。基本的にはこういう形でいいと思います。

・明智市長

食という部分で旭市は基幹産業が農業ということですが、水産業も入るといいと思います。先程委員のほうから言われたことも加えながら、文言は少し長くなってもいいのではないかと思います。他の事例をみますとかなり細かく、長くかいてあるところもありますので、加えるのもかまわないと思います。

「健やかでたくましく活力あふれる人を育みます」ということで、体力の増強や体力づくりの部分を入れられないかなと思います。「運動に親しむ資質」とありますのでその辺を参考にしてもらいたいと思います。

次に重点目標の5番目について、意見交換を行いたいと思います。鏑木教育長職務代理者からお願いします。事前の提案はありませんでしたが、思いを語っていただければと思います。

・鏑木教育長職務代理者

やはりこの文言だと学校中心の子供達の将来ということですが、旭市民全体の運動関係のことも入れたほうがいいかなと思っています。

・鈴木委員

② のところで、これだけ人が少なくなっていく中で、世代間・地域間の交流活動が活発に行われるのかということが疑問に思いました。街全体として取組んでいくという文言になればと思います。

・富山委員

5番の文言で、学校、家庭、地域の順番ですが、小さいものから大きいものに広がるとすると、家庭が最初かと思います。富里市の「家庭で育て、学校で伸ばし、社会で磨く教育」は、良い感じではないかと感じました。学校を中心としてという意味合いで、学校が一番に出て来ているのかなとも思います。①の「子どもたちの学びや安全をサポートするために」のところは、文章の後半にも「まち全体で子どもたちを守り」と、子どもたちが二重のように感じますので、「まち全体で守り育てる」とカットしても意味は通じると思います。世代間・地域間の交流は、ここでも触れていて生涯学習の面でも世代間に触れるような感じでしたので、ダブルにならないようにどちらか一方で載せていただければなとも思いました。

・島田委員

最後に環境といいますかそういうものを土台にするのは大変素晴らしいと思います。あとは、建て付けの話ですが（1）から（5）までありますが、市長が言われたように心技体ということになれば、一番下に環境がきてその上の上っていく訳ですが、（1）と（3）が心、（2）は技術とか技能、（4）が体、

身体のことだとすると（１）（３）（２）（４）のほうがすんなりいくのかなと思います。後は、全体的にはすばらしいと思います。

・諸持教育長

最後の５番のところに、前段で生涯スポーツとか文化とかの話があったので、子どもだけでなく全世代という意味で市民という言葉を入れたらいいと思いました。文言整理のときにそういう言葉と、文化スポーツを友好に育てるみたいなどころを入れたらどうかと思います。

・明智市長

５番目は、家庭と地域社会が重要になってくるとは思います、学校教育は当然義務教育でありますので、地域と家庭の部分がもう少し前面に出せるような文章はどうかと思います。環境という部分で、旭市は豊かな自然環境はありますけども、地球温暖化の問題が今子供達にもどれだけ理解されているのかなと思います。２０４０年には地球の水位が１メートル上がるのが予想されています。その地球温暖化の問題を環境と結びつけて、意識を持つことが大事だと思いますので、どこかに入れてもらいたいなど。それが変化の激しい社会の変化に繋がっていくと思いますので、子供の時から地球温暖化の問題、それにはどうしたらいいのか想像できるような大綱にして欲しいと思います。

重点目標と基本理念ということで意見交換していただきましたが、全体をみて付け加えたいことがありましたらお願いしたいと思います。

最初に、重点目標が５つということで、これはそのまま踏襲してよろしいでしょうか。あるいは６番目を作ることに問題はあるのか。

・庶務課長

問題はありません。

・明智市長

先程の環境とか地球温暖化の部分は、これから本当に考えていかなければならないと思います。大規模災害も多くなるので、環境問題についてどこかに入れられないか。

・鈴木委員

今市長さんからお話があった地球環境問題ですが、世界的な問題でありこれからは続いて行くことと思います。台風の被害は日本だけではなくアメリカやアフリカでも被害を受けているそうです。またパリ協定の関係で訴えた、中学生か高校生だったかと思いますが、その人が大きな賞をもらい、世界的にも若い者たちが動いているという報道がありました。そういったところで結びついていかな

いと、地球自体が守れないなと思いました。

- ・ 明智市長

ほかに総体的な意見がございましたらお願いします。

- ・ 楠木教育長職務代理者

決めるのは地方公共団体の長ということで、市長さんが最終的にやりたいことを書くわけですから、色々意見が出ましたけども参考にできるものは参考にさせていただいて、旭市の特徴を出していただければありがたいです。

- ・ 諸持教育長

ここにいる委員私も含めて、大綱の策定に向けての話し合いは初めての経験でございますが、文言を一つ一つみると良くできているなと思いました。そして、これからの旭市のためにという大事な大綱であるなと改めて思いました。そういう中で私は重点目標を5項にし、後は多少文言の入れ替えをすればいいかなと思ったのですが、最後に市長さんのほうから、変化の激しい色々なものについて、新たな項目を状況に応じては定めてもいいのではという言葉がありましたので、それが旭市にとってPRできる新しい大綱のポイントであるかなと思いました。

今日の会議の中で、地場産業として農水産業のことや中央病院の話もありました。また世界的に自然災害が多いということや、関連してゴミの問題について新しい項目を打ち出すのもいいのではと思いました。無理に5つの中に全部を入れるのは大変かと思しますので、項目を増やすやり方もいいのかなと思いました。

- ・ 明智市長

ほかに何かご意見・ご質問等ございましたらどうぞ。

- ・ 富山委員

学校訪問に行くと、千葉県の大綱は大きく印刷されて掲示されていますが、旭市の大綱はあまり見たことがないので、その辺はどうなっているのか。

- ・ 諸持教育長

学校は意識して掲示していますが、一般市民はあまり目にしていないと思います。次に策定した時は広報、ホームページはもちろんですが、市内の公共施設にも大きなパネルにして、職員や市民が目に見えるようにしたいと思います。そしてどのように旭市の子どもは育てているのか、また市全体で生涯教育をどのように考えているか、目に見えるようにしたいと思っています。

・明智市長

1 回目の大綱のとき印刷はどのくらいやったのか。どういう場所へどのくらい配ったのか教えてもらいたい。

・庶務課長

データがありませんので、後日回答したいと思います。

・明智市長

できるだけ人目に付くようにしてほしい。市民はきっと旭市の教育に関する大綱があるのかくらいにしか思っていないのでは。広報やホームページには載せているが、それを見る人は数が限られるだろうから。

・諸持教育長

今年 20 校の学校訪問の時に、旭市の大綱を全職員に事前に配りました。学校訪問の最後のところで、大綱のできた背景と五つの重点目標について改めて触れる機会を作りました。そして来年はこれにプラスアルファして、新たなものができることも学校には知らせております。

・明智市長

家庭教育学級は今もやっているのか。家庭教育学級でも旭市の教育大綱についてやってはどうか。

・富山委員

3 番に幼児教育というのがありますが、市として幼児教育は何をやっているのか。無償化みたいなのは大々的に出ていますが、こういう教育をしていますよというのは、あまり耳に入っていないので。

・庶務課長

現在の総合戦略の中に、子宝育成プロジェクトとして地域子ども教室事業や放課後児童クラブ、親と子どもの絆プロジェクト事業、第 3 子以降の保育料等の無料化等々があります。教育委員会で実施しているものだけではなく、旭市全体として取り組んでおります。

・明智市長

マンガで英語を親しんでもらうというのは、いつからやっているか。

・庶務課長

今年度からだだと思います。子育て支援課の所管です。

- ・ 明智市長
マンガで英語を理解できるような英語教育をやっている。
- ・ 富山委員
対象は幼稚園か保育所か。
- ・ 明智市長
新規事業で保育所でもやっている。英語だけ教えたら、かえって嫌いになってしまうのではということで、マンガなら英語に対して興味が出てくるかと。
- ・ 鈴木委員
それは誰が教えるのですか。
- ・ 庶務課長
教えるのは外部の方に委託してと聞いています。
- ・ 鈴木委員
資格を持っている方ですか。
- ・ 庶務課長
どの程度の資格かは今わかりませんが、外部のある程度のレベルの方にやっ
てもらっていると認識しております。
- ・ 明智市長
週に1時間か2時間だったと思います。親しみをもてるというだけの本当の
教育ではないかと。英語に触れるくらい。
- ・ 富山委員
小学校1年の時に、40分の授業を座って聞ける状態まで持っていくのが、
幼児教育かなと思いますので、英語だけではなくて。
- ・ 明智市長
しつけも絡むかと。
- ・ 富山委員
家ではできないので、座ってられる根性というか習慣、勉強するという体
制を、教育というのであればその辺を掘り下げていただければ。

・明智市長

ほかに何かございますか。それでは出尽くしたようなので、終了したいと思います。ありがとうございました。

7 その他

・庶務課長

次回の総合教育会議の日程ですが、2月の中旬までに実施したいと考えております。ただ今の意見をもとに、市長と事務局で案を作成させていただきまして、次の会議の中で内容の確認をさせていただきたいと思っております。

8 閉 会

・飯島庶務課副課長

以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。長時間に渡りお疲れ様でした。